

第58回人権週間

12月4日～10日

平成18年度啓発活動重点目標

「育てよう 一人一人の 人権意識

—思いやりの心・かけがえのない命を大切に—

- ◆ 12月4日(月)から10日(日)までの1週間は人権週間です。法務省および全国人権擁護委員連合会では啓発活動重点目標のほか、次の事項を強調事項として各種行事を実施します。
- ◆ 女性の人権を守ろう
- ◆ 子どもの人権を守ろう
- ◆ 高齢者を大切にすることを育てよう
- ◆ 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ◆ 部落差別をなくそう
- ◆ アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ◆ 外国人の人権を尊重しよう
- ◆ HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- ◆ 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ◆ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ◆ インターネットを悪用した人権侵害はやめよう
- ◆ 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ◆ ホームレスに対する偏見をなくそう
- ◆ 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ◆ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ◆ なお、人権問題で困っている人は、次の人権擁護委員か法務局(☎244155)へご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

大洲市の人権擁護委員

上田 弘(若宮) ☎246370
 上野 マリエ(大洲) ☎232123

佐川 文彦(新谷町) ☎253167

松岡 昇平(成能) ☎270107
 藤木 恵利子(柚木) ☎243505

松岡 強(八多喜町) ☎260136

谷本 京子(平野町平地) ☎232132

清水 禎子(白滝) ☎540631
 下田 美澄(長浜町下須成) ☎521616

台本 曙美(肱川町宇和川) ☎342650

船田 千代子(河辺町植松) ☎392451

人権問題に関する 総合12時間電話相談

相談内容

差別待遇、暴行・虐待、いじめ、プライバシーの侵害等、家庭及び近隣関係等における人権問題に関するあらゆる相談(無料・秘密厳守)

日時 12月7日(木) 午前9時～午後9時

電話番号(フリーダイヤル) ☎0120・025・550

相談担当者 人権擁護委員(弁護士資格のある者も含む)、法務局職員

主催 松山地方法務局

人権・同和教育シリーズ No.23

「思いやり」は 家庭から

先週の土曜日。妻が風邪をひき、かなり高い熱が出て寝込んでしまい、私が代わりに家事をすることになりました。

慣れない手つきで米をとき、水の分量を聞いて、あとは、炊飯器のスイッチを入れて、ご飯はできあがり。野菜は、近くのスーパーへ子どもと一緒に買いに行き、「たまには、いいかな」という感じでした。ただし、お

かゆ作りには苦労しました。もつと面倒だったのは、洗濯です。汚れ物をそのまま洗濯槽に入れてはダメ。一つ一つ妻に聞きながら仕分け、物によっては、ネットに入れ、やっと洗濯の始まり。次に、水はリサイクルと

かで、風呂の残り水を利用すると教えられ、面倒くさいな、そこまで「もったいない」を徹底しなくても…と、つい思ったり、指示された適量の洗剤を入れ、行きつ戻りつ、洗濯、脱水をしていきました。

最近、洗濯から乾燥までやってくれる全自動の洗濯機があるのに、「やっぱり二槽式がいい。」と、買い換えようと思いません。「何だか便利すぎる。第一、今のが使えるのもったいない。」そうです。洗濯物を干したり、取り込んだり、子どもと一緒にたたんだり、アイロンをかけたたり、結構大仕事でした。

毎日の炊事に洗濯、掃除など、家事の大変さが、たった一日で、身にしみて感じられました。

子どもは、自分の部屋で本でも読んでいるのか、今夜は静かに過ごしているようです。新聞を読んでいる傍らで、妻は、静かな寝息を立てています。

家庭でのさまざまな家族の役割を、お互いが認め合い、「ありがとう」と感謝したいものです。「ありがとう」の一言が、思いやりの心を育みます。家族を大切に思い、尊重することにより、家族のきずなが深まっていきます。そして、家事の役割分担を見直すことが、お互いの立場を理解しようとするきっかけとなり、家族の一員としての自覚を生むと思います。

また、お互いの『心』を大切にしたいものです。思いやりのある優しい心に、差別の芽は育ちません。一人一人の人権が尊重される心豊かな社会をめざして、まず、家庭から人権尊重の輪を広げていきましょう。

市立幼稚園児の募集

平成19年度市立幼稚園児募集を次の要領で行います。

入園資格

▼市内に居住する幼児
▼満4歳児（平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた幼児）
▼満5歳児（平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた幼児）

保育年限

2年保育

入園手続き

入園願書を12月15日（金）から12月25日（月）までに「入園希望の幼稚園」に提出してください。

申し込み先

入園希望の幼稚園
入園願書は「各幼稚園」にあります。（12月1日（金）からお渡します。）

入園料・保育料

(1)入園料
園児1人につき
1回 2,500円
(2)保育料
園児1人につき
月額 5,500円

問い合わせ先

・各市立幼稚園
・教育委員会教育総務課
☎1729

幼稚園名	問い合わせ先		募集人員		
	所在地	電話番号	4歳児	5歳児※	計
大洲市立大洲幼稚園	大洲市大洲715番地	24-3565	35名	70名	105名
大洲市立喜多幼稚園	大洲市東大洲85番地1	24-2266	70名	70名	140名
大洲市立久米幼稚園	大洲市阿歳甲579番地1	23-2796	35名	35名	70名
大洲市立平野幼稚園	大洲市平野町平地28番地	23-2889	35名	35名	70名
大洲市立中野幼稚園	大洲市肱川町山鳥坂527番地2	34-2761	35名	35名	70名
大洲市立正山幼稚園	大洲市肱川町名荷谷1910番地2	34-2662	35名	35名	70名
大洲市立大谷幼稚園	大洲市肱川町大谷2665番地	34-2560		35名	35名
大洲市立予子林幼稚園	大洲市肱川町予子林1957番地	34-2216		35名	35名
大洲市立河辺幼稚園	大洲市河辺町植松674番地	39-2808	35名	35名	70名

※5歳児の募集人員は、「現在の園児数を含んだ人数」です。
入園希望者が定員を超えた場合は、抽選により入園を決定します。

平成18年度大洲市民運動会開催

～ 市民が一つになって ～



さわやかな秋空が広がる絶好の運動会日和となった10月8日（日）、八幡浜・大洲地区運動公園陸上競技場で、平成18年度大洲市民運動会が開催されました。

雨天のため1週間延期となった今回、合併後初の市内全域から18チーム、応援を含め約3,500人が参加し、13種目26競技で熱い戦いを繰り広げました。

日ごろの練習の成果を十分に発揮できたチームや予想外に苦戦するチームなどさまざまでしたが、参加者らは共に力を合わせさわやかな汗を流していました。

優勝したのは肱南地区で、1点差で準優勝の平野地区に競り勝ち、真新しい深紅の優勝旗を手に入れました。また、上須戒、柳沢、南久米、三善の各地区が特別賞に輝きました。

国民年金保険料の年末調整や確定申告

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付等が必要です。

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除（非課税）の対象となつています。

年末調整や確定申告で国民年金保険料を申告する場合は、

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付等が必要

です。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」は、11月上旬

または翌年2月に社会保険庁から送付されますので、申告の際まで大切に保管してください。

11月送付対象者

1月1日から10月2日までの間に国民年金保険料を納めている人

翌年2月送付対象者

10月3日から12月31日まで

問い合わせ先

控除証明書専用ダイヤル
☎0570・00・9911
（現在、平成19年3月16日まで、平日午前9時～午後5時）

松山西社会保険事務所
☎089・925・5105

お知らせ

西伊予 幸福行きバレンタインバスツアー

2007年2月3日(土)&4日(日)

参加者募集!

このツアーは、西伊予(八幡浜市・大洲市・西予市・内子町・伊方町)の魅力あふれるスポットを旅し、ありのままのキミがスキという気持ちが誕生することを願う、1泊2日のバスツアーです。

♥逢えたネ! ♥あなたに近づいた! ♥勇気を出して!

という気持ちが、きっと姿を見せます。

西伊予発 幸福行きバス あなたも乗車してみませんか!!
☆ツアーコンダクターは、南海放送ラジオでおなじみの小林真三さんです。

- 【対象者】** 20歳以上の独身者
(ただし、男性は西伊予エリア在住の方に限ります)
- 【募集人数】** 男女各20人 合計40人
- 【参加費】** 女性/3,000円・男性/5,000円
(参加費には、バスツアーの交通費・食費・宿泊費などすべて含まれます)
- 【受付締切】** 2007年1月10日(水)
(ただし、申し込み多数の場合は、抽選にて決定します)
- 【お申込みは、** ハガキかEメール
〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690-1 大洲市役所内
八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合
西伊予 幸福行き バレンタインバスツアー事務局係
氏名・年齢・性別・住所・電話番号をお書き添えください。
《Eメール info@nishiiyo.jp》
なお、ご記入いただいた個人情報、使用目的であります「西伊予幸福行きバレンタインバスツアー」以外には使用いたしません。
- 【主催】** 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合
(八幡浜市・大洲市・西予市・内子町・伊方町)
お問い合わせはこちら → TEL(0893)24-0560
HP「ほっとde西伊予」 <http://www.nishiiyo.jp/>

河辺ふれあいフェスタ2006開催

10月15日(日)、河辺ふるさと
の宿で、「河辺ふれあいフェ
スタ2006」が開催されまし
た。
午前10時から、大洲市文化協
会河辺支部会員のカラオケ、詩
吟の発表で幕を開け、高知の大
道芸人Mr.マーさんのパル
ンショーや曲芸ショー、菅田の

五ツ鹿踊りなどが披露されまし
た。
会場では、うどん、ちらし寿
司などの出店もあり、終日大勢
の人でにぎわいました。
イベントの最後を飾る菓子ま
き、餅まきでは、子供も大人も
夢中になって拾っていました。



第6回『版画絵はがきコンテスト』作品募集

風の博物館が開催する『版画
絵はがきコンテスト』は、江戸
時代の代表的な浮世絵師「喜多
川歌麿」の描いた版木が町内の
民家で発見されたことを機に始
まり今年で6回目を迎えます。
あなたの感性を版画絵はがきに
表現してみませんか。

募集内容

版画絵はがき
(題材、テーマは自由)

募集期間

現在〜平成19年1月31日

主催

大洲市立脈川風の博物館・歌
麿館

応募資格

プロ、アマ問わず誰でも応募
できます(未発表作品のもの)

応募規定

官製はがきまたは同サイズの
用紙を使用。応募数一人3点ま
で(シリーズ物は5枚まで)

発表

平成19年2月中旬入賞者に通知

その他

応募作品は返却しません。
応募作品の著作権は主催者に
帰属します。

送付先

〒797-11505
大洲市脈川町予子林99番地1
第6回『版画絵はがきコンテ
スト』係

問い合わせ

風の博物館
☎ 089 2181 FAX 089 3966

受任者名簿公開に関する訴訟の
判決確定について

本市が、住民の知る権利を尊重す
ることに努めた情報公開に関する事
件につきましては、去る10月13日最
高裁判所において司法の最終判決が
下されました。市といたしましては、
この結果を真摯に受け止め、今後、

より慎重に保有する個人情報を取り
扱うとともに、適切な情報公開なら
びに公平かつ公正な市政運営に努め
てまいりたいと考えております。

受任者の皆様をはじめ、市民なら
びに関係者の皆様には、大変なご心
労をおかけしましたことを深くお詫
び申し上げます。

大洲市長 大森隆雄

まちのわだい

ながはま



～20歳になったら進んで投票を！～

青少年を対象に、将来、進んで投票に参加するよう政治意識の向上を図ろうと、10月13日（金）、長浜中学校3年生75人を対象に、中学生選挙啓発講座（愛媛県選挙管理委員会主催）が開催されました。

講座では、実際の選挙で使用する投票箱や記載台を使用し、模擬の長浜中選挙を設定。立候補者4人の中から投票用紙に1人書き投票するとともに開票も体験、生徒らは終始、真剣な表情で取り組んでいました。

おおす



～こんにちは！知事です 開催～

県知事が地域に出かけ、住民と気軽に意見交換を行い、意見・要望を把握して可能なものから県政に反映していこうと、10月12日（木）、リジェール大洲（東大洲）で開催され、市内の住民ら19人が活発な意見交換を行いました。この会は、毎年、県内5地方局管内の市町単位で開催されており、多くの傍聴者も詰めかけた今回は、まず初めに、加戸守行知事が「財政構造改革」と題して講話。県財政の現状を語るとともに、組織の簡素化や職員給与の抑制、事務事業の徹底的な見直しなど財政構造改革の具体的な取り組みを紹介し理解を求めていました。

続いて行われた意見交換では、参加者から、県道改修や肱川河川整備のほか、農業経営の支援策や食育についての提言や要望も出され、加戸知事は、今後の県政の参考にしようとの終始熱心に耳を傾け、一つ一つに丁寧に回答していました。

かわべ



～交通ルールを守ろう～

9月28日（木）、河辺小学校児童による交通安全鼓笛パレードが支所前付近で行われました。このパレードは毎年「秋の交通安全運動」期間中に実施されています。

今年も、全校児童50人の元気なパレードが、沿道に駆け付けた保護者や地域の皆さんの声援を受けながら行われました。

パレード終了後、式典があり記念品が贈られ、児童全員で「交通ルールを守ります」と力強く誓いました。

ひじかわ



～スポーツで地域交流～

第4回肱川自治運動会が晴天の下、10月15日（日）肱川中学校グラウンドにて開催されました。

今大会では、従来の自治対抗種目に加え、肱川町を東西に分けて競う東西対抗種目も新たに加えられました。また、毎年恒例の中学生の迫力ある応援合戦も繰り広げられ、肱川町全体が熱気に包まれるとともに、大いに盛り上がった一日となりました。